



佐野短期大学学報

か た く り



ACCREDITED
2005

発行/佐野短期大学

栃木県佐野市高萩町973 電話 (0283) 21-1200

入学特集号



祝入学



経営情報科 2 年 海老沼 唯 (セミナーⅡ〈亀田〉IllustratorCS)

大学の主な行事

(春期)

- 4月3日 オリエンテーション (7日迄)
- 4月6日 入学式
- 4月9日 春期授業開始
- 4月13日 1年生学外合宿研修 (14日迄)
- 5月1日 創立記念日
- 7月8日 福祉住環境コーディネーター検定
- 7月31日 夏期休業開始 (9月8日迄)
- 9月9日 海外研修 (18日迄)
- 9月27日 秋期オリエンテーション
- 9月28日 秋期授業開始

新入生に贈るメッセージ



想像から創造へ

理事長・学園長 池田 健次

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんが今日から学ぶ佐野短期大学は平成 2 年に開学し、2 年後には創立 20 周年を迎えます。その間、幾多の変遷を重ねつつ現在の 3 学科 4 コース、4 専攻の教育システムが構築されました。

時代が昭和から平成に移り、グローバルの進展とともに私たちを取り巻くあらゆる環境が大きく変容する中で、本学は常に社会の流れを敏感に察知し、実学優先の基本理念を堅持しつつ、社会が要請する人材の育成に努めてきました。卒業生も今やそれぞれの分野で中核として活躍しています。

さて、新入生の皆さん、皆さんは本学での生活を何を求め、何を期待して入学されましたでしょうか？それぞれがそれぞれの思いを胸に抱いていることと思います。

私は皆さん一人ひとりが、本学の教育目標である「想う人・考える人・行う人」の実践者となることを期待しています。

現代は、情報機器の目ざましい発達の中で、私たちが得る情報・知識の殆んどが映像として与えられる社会となりました。

私たち人間は生来、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚の五感を駆使して生きてきました。五感の働きが脳に伝わり知識となり行動となりますが、視覚への

依存度が大きくなり、五感の作業バランスが崩れると、思考力の高まりに大きな影響を与えていると言われています。

創造性豊かな人間になるためには、物事を想像したり考えることが大切であります。その意味からも音声文化・活字文化の重要性を再認識する必要があります。

最近若者の読書離れが問題視されていますが、皆さんはこの 1 年間に何冊の本を読みましたか。読書における「行間を読む」行為こそが想像であり、思考であります。本学での 2 年間で有効に使い、一冊でも多くの本を読破されることを勧めます。

また、学習の基礎・基本は今も昔も「読み・書き・ソロバン」と言われます。高等学校を修了した皆さんに言うべきことではないかもしれませんが、身近な事柄を題材とした文章を数多く書くことをお勧めします。「文章を書く」行為こそが想像であり、思考であります。

現代社会に生きる皆さんが本学での学びを通して、利便性に心を奪われた受動的姿勢から、自己啓発への能動的な姿勢へ転換されることを念願致します。

本学での学生生活が、皆さんの内なる知性を引き出し、高める時間となることを切に期待します。



新入生に贈るメッセージ



自分で考えて行動することの大切さを学ぼう

学長 谷島 一嘉

学生諸君のご入学を心から歓迎し、お祝い申し上げます。

あなた方はこれからの2年間、このサノタンで生活し、いろいろ学び、いろいろな資格にチャレンジして社会に出る準備をし、あるいはさらに上の4年制の大学を目指して勉強に励むことになります。人生で大切なこの時期、生涯の友人に出会い、信頼する先生方と知り合い、学園生活を大いにエンジョイする、という日々が待ち構えています。たぶん皆さんはこれからの学園生活に対して、大きな期待と、うまくなじめるかどうか、ちょっぴり不安を抱えていることでしょう。一生で一番感受性が高く、みずみずしい時期をこのサノタンで迎えたわけでありませう。

今までの中学、高校時代と大きく異なる点は、大学は自分で考えて行動する場だということです。学外の施設に実習に出ればすぐに、挨拶がきちんとできるかどうか、実習生として、また一人の社会人として、マナーを守れるかどうかが問われます。挨拶がきちんと出来て、学生としてのマナーをきちんと守り、人に迷惑をかけない習慣を身につけることが学園生活の第一歩なのです。

今は一時代前のような苦勞をしないで、インターネットで引けば欲しい情報がなんでも手に入る世の中です。テレビでは視聴率を上げるための情報を流し続け、新聞でもいろいろな情報が氾濫し、地球規模で目まぐるしく情勢が変わる世界の中で、

自分を見失わないでこれからの長い人生を生きて行くために、ぜひ自立する習慣、つまり氾濫する情報から、自分自身で考え、することを決め、自分の責任で行動する習慣を身につけてくださるようお願いいたします。すぐ責任を他に押し付けるような人間にはならないでください。

ここ数年間の本学の特色は、自分の頭で考える教育の実践です。あなた方の脳は、今一番伸び盛りです。記憶力も今が一番伸びるときで、スポンジに吸収される水のように、読んだこと、聞いたことが覚えられる時期です。得た知識を自分の頭で考えて物事の本筋を理解し、行動に移す実践力を養っておきましょう。自分の性格が形成されてその人の個性が出てくるのもこの時期です。この時期に自分をどのくらい開発するかで、あなた方の今後の生き方が決まるでしょう。

いじめ、殺人、自殺、談合、粉飾決算、子を育てられない親、親を殺す子、美しかった日本人の心が崩壊してお金がすべて、そのために何をしてもしよいかといった風潮を感じさせます。子供やお年寄りを狙った凶悪な犯罪も増えています。でもそんなこととは無縁の善良な人々が大半なのです。きちんとまじめに生きてゆきましょう。その基礎をサノタンで築きましょう。2年間の学園生活で自分をしっかり磨いて、2年後には全員がサノタンに学んでよかったと、誇りを持って卒業されることを期待します。



人 事

() は前任

〔新規採用〕＜H19.4.1＞

准 教 授 小竹 利夫 [児童福祉専攻]
 兼 任 講 師 堤 由美子 [英米語学科]
 河藤 佳彦 [経営情報科]
 藤倉理恵子 [児童福祉専攻]
 田村 田 [児童福祉専攻]
 小沢日美子 [児童福祉専攻]
 兼 任 助 手 宇賀神 恵 [児童福祉専攻]
 國分 秀光 [栄養福祉専攻]
 総 務 課 瀧川 知美

〔任用換え〕＜H19.4.1＞

特 任 教 授 松崎 宣子 (教授)

〔昇 格〕＜H19.4.1＞

准 教 授 和田 晴美 (専任講師)
 准 教 授 森 千佐子 (専任講師)
 准 教 授 山内 健次 (専任講師)

〔異 動〕＜H19.4.1＞

事 務 長 乙守 貴正
 (佐野日本大学中学・高等学校入試室長)
 佐野日本大学中学・高等学校事務室
 森田 拓男 (進路指導課)

〔配置転換〕＜H19.4.1＞

図書館事務長 長 充男 (事務長)
 学 務 課 吉田 美季 (図書館)
 進路指導課 村野 洋子 (学務課)

〔退 職〕＜H19.3.31＞

特 任 教 授 山本 洋子 [英米語学科]
 兼 任 講 師 神部 順子 [介護福祉専攻]
 亀田 秀子 [児童福祉専攻]
 富士野行男 [栄養福祉専攻]
 加藤理津子 [栄養福祉専攻]
 兼 任 助 手 渡辺 陽介 [栄養福祉専攻]
 総 務 課 遠藤 麻美

平成 19 年度 各種委員会委員長

常置委員会

学 務 委 員 会 稲 見 崇 司
 学生生活委員会 長 江 弘 晃
 進路指導委員会 國 分 三 郎
 函 書 委 員 会 佐 藤 秀 一
 公開講座委員会 山 田 昇

特別委員会

入学試験委員会 谷 島 一 嘉
 自己点検評価委員会 大 室 精 一
 広 報 委 員 会 ジョン・デイリー
 FD・将来構想委員会 谷 島 一 嘉
 ボランティア委員会 橋 本 佳 子

臨時委員会

施設整備委員会 前 澤 典 明
 第三者評価委員会 長 江 弘 晃
 安全衛生委員会 乙 守 貴 正



学報編集委員

松崎 宣子・佐藤 秀一・立川 聡子・大熊 信成
 和田 晴美・新井 文子・山内 健次・高橋登美子
 藤田 睦・大橋 義成・齋藤 彩